

XP と生態学

XP & ecology

2006.6.29

XPJUG あまのりょー

XPJUG

からの告知

今年もやります

「XP祭り」

2006/9/2 (土)

於:都内某所

予定を空けてお待ち下さい

「XP祭り 関西」

2006/9/30 (土)

於:ワッハ上方

こちらもよろしく

私

某大学 大学院

農学研究科

応用生物科学専攻

植物保護科学講座

昆虫生態学研究室

出身(中退だけど)

履歴書、書くの大変
なんですよ。。。。

何やっていたかってーと

- 蝶のベイツ型擬態の研究とか。
- 針葉樹にゴール形成する
タマバエの研究とか。
- 行動生態学やら、
進化生態学やら。



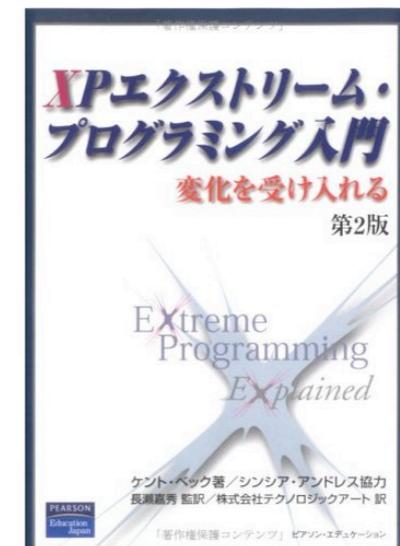
シロオビアゲハ (*Papilio polytes*)

そこで本日は

- XP、、、というかソフトウェア開発と生態学に見られるアナロジーについて考えてみました。
- コの業界に入った当初から、漠然と考えていた事なんですけどね。

多様性、重要

- 生態系の持続的な運営には**生物的多様性**(bio-diversity)が重要。
- **XPE 2nd.** でも Kent Beck が Diversity の重要さを説いていた。
(衝突が必要だとも)



多様性、重要

- 実は、今日の考察は殆どこの一言に集約されます。
- つまり、本日の結論。

先にフィードバック

- 今回のトークスについて練っているうちに、アジャイル界限から、生態学業界に**フィードバック**できる**要素**があることに気づいた。
- そう、アレ。

腰リール



撮影協力: Akiyah 氏

フイールドワーカー
にウケそろう

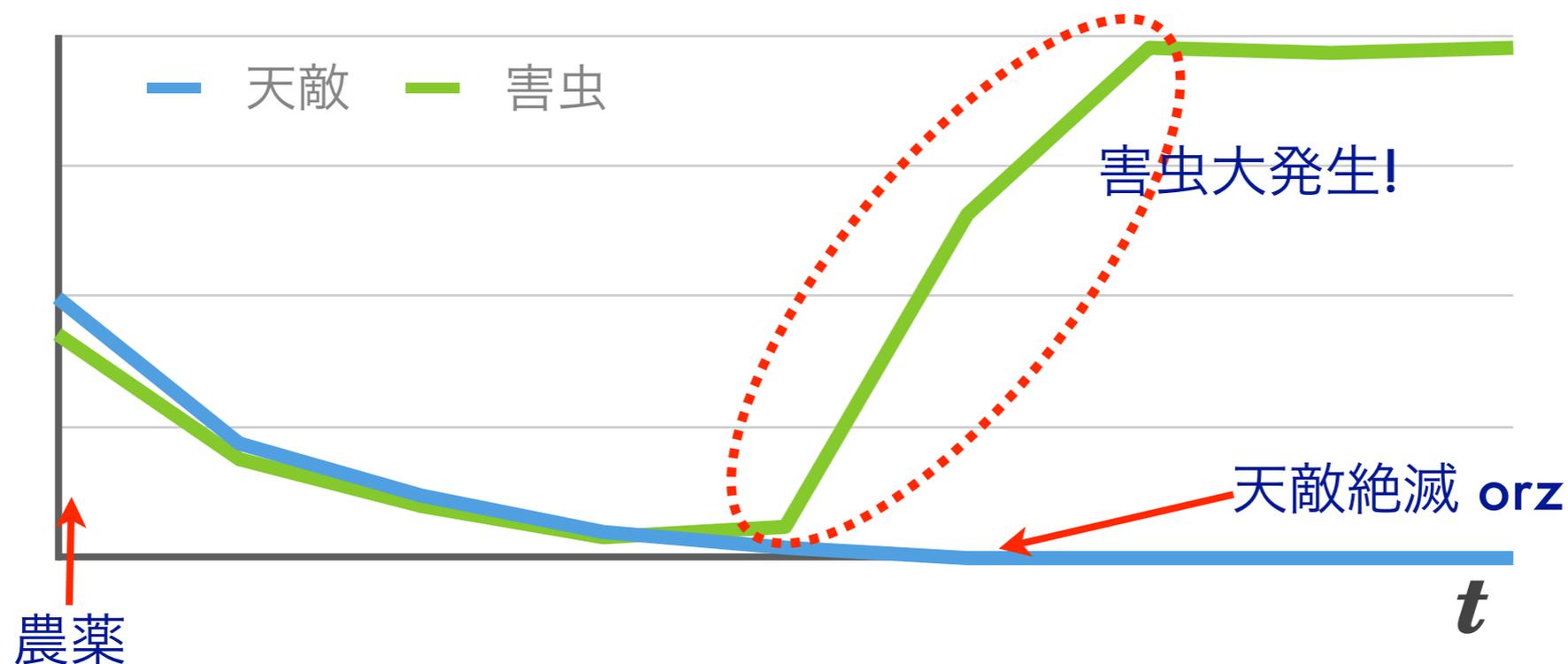
農學

リサーチジェンズ

- 農薬や殺虫剤の過度の散布により、
かえって害虫が増えてしまう現象。

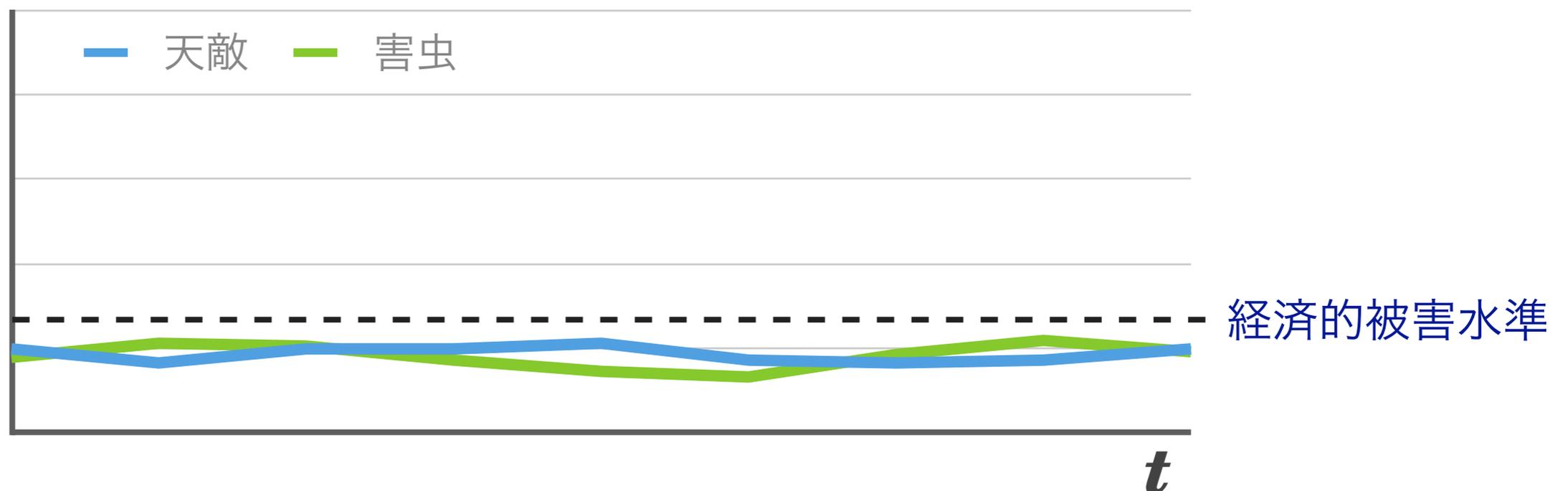
個体群生態学的な解釈

- 天敵生物が先に絶滅する事により、害虫の発生を抑制する要因がなくなることによる。



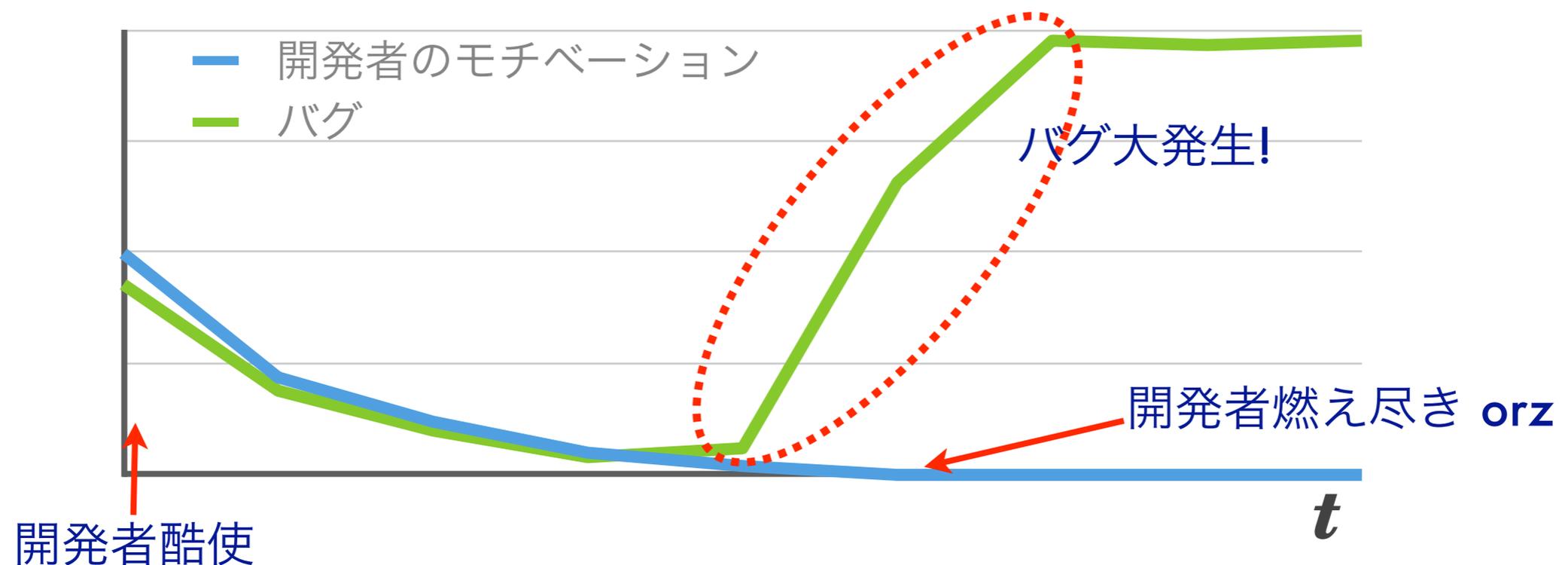
経済的被害水準

- 天敵と害虫の関係を低密度（経済的被害水準以下）に抑えつつ、**持続させる**ことで、十分な収量を得る。



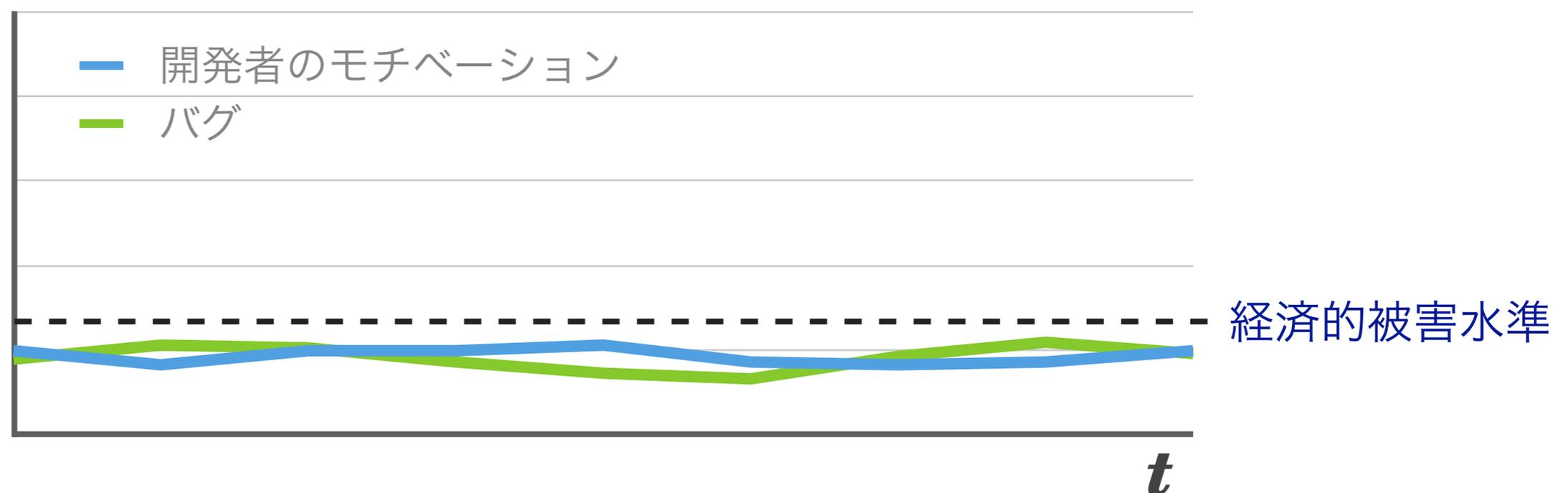
ソフトウェア開発では

- 優秀な開発者が先に燃え尽きる事により、バグの発生を抑制する要因がなくなることによるデスマ化。



バグの経済学

- 提供するソフトウェアの価値とバグによるコストのトレードオフを鑑みた**持続可能な**リリース計画。



群落生态学

キーストーン種

- それを除去すると群集の性質が大きく変化する種。
- 例えば食物連鎖。
- ラッコ, ウニ, コンブ, 魚介類
- 実際にはリニアーな系よりも、むしろ食物網におけるロール。

そんな人、いるよね

- マネージャ? リーダー?
- →職制上のリニアな関係ではなくて、むしろ・・・
- ファシリテーター!
- スターエンジニア!
- ムードメーカー!

提 提 提 提 提 提 提 提

プロジェクト・エコシステム

- 多様性に基づく、**疲弊せず**、**持続可能**で、**ダイナミックに変化**していくプロジェクトチームの運営。
- 自然生態系の写像。

ニッチとトラックナンバー

- 多様性の維持はトラックナンバーの減少にはつながらない。
- むしろ**トラックナンバーを増加**させる。
- 空きニッチ（生態学的地位）は、多様な系だからこそ、埋まる。

移入と移出

- プロジェクト内の閉じた生態系から、プロジェクト間・会社間といった**オープンな系**を意識してみる。
- **移入と移出**こそが多様性の鍵。
- 人レベルの交流
- 知識・マインドレベルのやり取り

Keywords

競争

断続平衡進化

共生

環境収容力

すみ分け

r戦略, K戦略

種子散布

密度依存

淘汰圧

擬態

送受粉

林冠ギャップ

漸進的進化

ご清聴ありがとうございました

ございました。